

佐久市佐久つと支援金事業 自己評価報告書

評価日 27年 10月 30日

団体名	うすだ未来21		
事業名	街づくりを考える地方創生講演会		
対象経費	200,000円	支援金額	100,000円

事業の目的・内容	目的 佐久市の人口は合併時から比較して10万人を下回り減少している。臼田地区においては、人口が約10%減少し、このままではさらに減ることが予想される。現在の活力を維持できるかどうか危惧される今、個性豊かで魅力ある地域づくり、安心して生活が営める地域づくりの再構築が求められている。地域の皆さんと一緒に講演会・パネルディスカッションを通じてこれからの臼田の街づくりを考えたい。
	内容 地域住民参加型の講演会を2部構成で開催。第1部として、三菱総研松田研究員を招き地方創生講演会を開催。「地域の魅力を生かし、移住者を集める新たな街づくり」とした。第2部は講師の松田氏を交え、佐久病院副院長、柳田市長を含めパネルディスカッションを行った。

事業の活動実績	平成27年10月16日あいとびあ臼田にて、臼田地区の多くの各種団体の皆様の賛同を得て、地域住民参加型の講演会を2部構成で開催した。第1部として、三菱総研松田研究員を招き地方創生講演会を開催。「地域の魅力を生かし、移住者を集める新たな街づくり」とした。講師の三菱総研松田氏は政府の有識者会議のメンバーでもあり内容の濃い講演であった。現在臼田地域で市が進めるCCRC構想「生涯活躍のまち構想」を理解できた。第2部は講師の松田氏を交え、佐久病院副院長、柳田市長を含めパネルディスカッションを行った。人口減少社会を理解しこれからの臼田の地方創生について議論していただいた。参加者は約250名に上り関心の高さがうかがえた。
---------	--



事業の成果・効果	地域住民参加型の講演会を2部構成で開催したが、当初講演会の内容から参加者が集まるか心配したが、賛同して頂いた臼田の各種団体の皆様により多くの方が関心をもって参加して頂いた。第1部として、三菱総研松田研究員を招き地方創生講演会を開催。「地域の魅力を生かし、移住者を集める新たな街づくり」としたが、現在臼田地域で市が進めるCCRC構想「生涯活躍のまち構想」について特に深く理解することができた。講師の松田氏が政府の有識者会議メンバーであることから非常に分かりやすく市民の皆さんが理解できたと思う。第2部は講師の松田氏を交え佐久病院副院長、柳田市長を含めパネルディスカッションを行った。人口減少社会を理解しこれからの臼田の地方創生について議論していただいた。現在、臼田地区においては佐久病院を核とした街づくり、コンパクトシティ構想が進んでおり、老人ホーム「勝間園」の中心部への移転などもあり、大きな変化が起こる、これからの臼田の街づくりについて皆さんとともに考えていく良い機会となったと考えている。大変良い事業が行えたと考えている。
----------	---

自己評価	事業は申請どおり実施できた	①できた 2 概ねできた 3 あまりできなかった 4 ほとんどできなかった 主な理由(3、4と答えた場合のみ)
	事業の実施によって、期待した効果があげることができた	①できた 2 概ねできた 3 あまりできなかった 4 ほとんどできなかった 主な理由(3、4と答えた場合のみ)
	実施計画書と実績報告書の活動費の内訳について	①ほとんど同じ 2 多少の変更があった 3 大幅に変更している 主な理由(2、3と答えた場合のみ)
	その他、評価すべき点等	

※ 自己評価の欄は、番号に○を付けてください。評価は、客観的自已診断です。

今後の事業展開	市では現在、佐久市版CCRC構想「生涯活躍のまち」構想を臼田地区をモデルにスタートさせるとし協議会を発足させている。地域住民を巻き込んだ活動とする為には市民の皆さんに構想の内容を理解していただくことが大切と考え、国の事業を発案、リードしている方を招いて、先行して講演会を開催した。非常に良かったと考えている。これからも行政の動きを注視し、地域住民とともに街の活性化に寄与した活動をしていきたいと思う。第2回、3回の開催を目指していきたい。
---------	---